

## 地域個性を活かした ふるさとづくり

●自由通路「あいくる」を拠点とした情報発信とにぎわい空間の創出を進めます

多くの人が集い、さまざまな出会いとふれあいが生まれる芸術・文化活動発表の場として活用するとともに、にぎわいのシンボルゾーンにふさわしい空間となるよう、ミニ・コンサートなどのイベントを開催します。



●「手稲山雪の祭典」を開催します

区のシンボルである「手稲山」を舞台に、雪と親しむイベントを開催し、区民の連帯意識の醸成と冬の生活を楽し

む文化の創造を進めます。

企画・実施は多くの関係団体で構成する手稲山雪の祭典実施委員会が行い、ロジックいね前をメイン会場として、子ども雪合戦やその他たくさん楽しいアトラクションなどを行う予定です。

## 市民自治を育む 仕組みづくり

●「まちづくりセンター」のコーディネーター機能の充実・強化

全てのまちづくりセンターで地域情報誌を発行するほか、情報交流スペースを段階的に整備します。また、会議室やパソコンの時間外・休日利用のモデル試行に取り組むなど、より気軽に利用できる環境づくりに努め、まちづくりのコーディネーター（調整役）として、地域活動を積極的にサポートします。

●区民が主役のまちづくり活動の活性化

地域の様々な団体や人びとが集い、主体的なまちづくりなどを協議する「地区まちづくり協議会」の活動について、

各地区の実情に即した形で支援します。「まちづくりネットワーク助成制度」により、活動資金の面からも応援します。

また、区内のさまざまな力を結集して、これからの手稲を考える（仮称）「ていねっ」を催します。



●手稲区スポーツ・レクリエーション祭を共催で開催します

生涯を通じてスポーツに親しむことができる社会の実現を目指し、区民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する機会を設けます。普段スポーツをする機会が少ない初心者を対象としたスポーツ・レクリエーションのイベントを、手稲鉄北小学校及びてっぽく・ひろばを会場に、8月下旬に実施する予定です。

●「手稲区健康フェア」

を開催し、区民一人ひとりの健康づくりを応援します

区民一人ひとりの健康づくりを応援するため、各地域の健康づくりリーダー・食生活改善推進員や医療関係団体と協働で企画・運営する健康フェアを9月下旬に開催します。

このイベントでは、区民一人ひとりが自分の健康状況を知るために、血管年齢や骨密度などの健康測定や健康相談等を行います。

また、子供の遊びのコーナー、家庭内事故防止コーナーや食生活改善展、キノコ展など楽しく、役に立つコーナーに参加していただき、生活習慣を見直し、生き生きと暮らすことができるように応援します。



## 区民が主役のまちづくりを目指して



いま、私たちのまわりには、健康や環境、少子・高齢化と子育て、安心・安全なまちづくりなど、多くの地域課題があります。これらの課題に対応しながら、地域個性が輝き、誰もが安心してこころ豊かに暮らせる質の高いまちづくりを進めていくためには、まちの将来をみんなで話し合い、苦労と喜びを分かち合いながら、「ていねっ」と愛着や誇りを共有できる“ふるさと手稲”づくりを目指して、共に行動していくことが一層重要となっています。

手稲区役所は、区民に信頼される良きパートナーとなるよう一層努力し、「住んでいて良かった」と実感できる“ふるさと手稲”の実現に向けて、区民の皆様とともに手を携え、一步一步着実に歩んでまいります。

平成17年5月

手稲区長 町田 文夫